

# 音楽科学習指導案

生徒 第1学年A組 男子19名 女子20名 計39名  
指導者 教諭 嶋田 歩

## I 題材 『オーケストラの豊かな響きを味わおう』

## II 題材について

本題材では、管弦楽曲の鑑賞活動を通して、学習指導要領の「B鑑賞」(1)のA音楽を形づくっている要素や構造と曲想とのかかわりを理解して聴き、言葉で説明するなどして、音楽のよさや美しさを味わうことについて、[共通事項]のうち音色、リズム、速度、旋律、強弱などを支えに学習を展開する。

題材の前半では、「ブルタバ」(スメタナ作曲)の部分鑑賞を通して、情景を想像させ、音楽を形づくっている要素や構造と曲想とのかかわりを感じ取らせる。後半は、オーケストラの豊かな響きや多様な音楽表現について自分なりの課題を設定し、「ブルタバ」全体を鑑賞する活動を通して、グループ交流を踏まえて追究し、自分にとっての価値について述べられるように聴き深めさせる。

## III 生徒の実態について

1年生の鑑賞領域の既習題材「情景と音楽」では、教材曲「魔王」(シューベルト作曲)を、歌唱表現の特徴やピアノによる伴奏の効果を感じ取り、自分の内面に生まれる様々なイメージを味わいながら、登場人物の心情や場面を想像豊かに聴くことができた。課題としては、感じ取り聴きとらえた自分なりの解釈や考えを言葉などで他者に説明する力が定着するまでには至っていないことがあげられる。本題材で、オーケストラの豊かな響きや多様な音楽表現について、音楽に関する用語を適切に用いて自分なりに言葉で言い表したり書き表したりさせること、他者との交流を参考に自分にとっての価値を追究させることなどを通して、それらの力を身に付け、より深く鑑賞させたい。

## IV 題材の指導目標

・音楽を形づくっている要素や構造と曲想とのかかわりやオーケストラの豊かな響きや多様な音楽表現に関心をもち、鑑賞する学習に主体的に取り組む。【音楽への関心・意欲・態度】	・音楽を形づくっている要素や構造と曲想とのかかわりを基に、解釈したり価値を考えたりしてオーケストラの豊かな響きや多様な音楽表現を味わって聴く。【鑑賞の能力】
---	--

## V 指導計画 (5時間扱い・・・本時4/5)

学 習 内 容	指 導 内 容	時 間	<基礎的・汎用的な能力>との関連
オーケストラについての概要を知る。	・オーケストラのしくみや、主に使われている楽器、分類などについて概要を理解させる。	1	【自己理解・自己管理能力】
音楽を形づくっている要素や構造と曲想とのかかわりを感じる。	・ブルタバを部分鑑賞させ、情景を想像し、音楽を形づくっている要素や構造と曲想とのかかわりを感じ取らせる。	1	

「ブルタバ」を鑑賞し、課題を設定する。	・「ブルタバ」全体を聴き、オーケストラの豊かな響きや多様な音楽表現について、個人の課題を設定させる。	1	【自己理解・自己管理能力】【課題対応能力】
グループ交流を通して、課題を追究する。	・グループ交流を通して、個人の課題を追究させ、「ブルタバ」全体を視聴する。	1 本時（4/5）	【人間関係形成・社会形成能力】【課題対応能力】
まとめの鑑賞をする。	・まとめの鑑賞として連作交響詩「我が祖国」から他の楽曲を視聴し、自分にとっての価値を考えさせる。	1	【キャリアプランニング能力】

## VI 学校研究との関連について

本時では、音楽的な感受を支えとして感じ取ったことを基に、オーケストラの豊かな響きや多様な音楽表現について設定した個人の課題を、それまでの学習で習得した基礎的・基本的な知識・技能を活用し、グループ交流を通して得られた他者の解釈なども参考にさせながら追究させる。

## VII 本時案

1 題材 「オーケストラの豊かな響きを味わおう」

2 学習目標

・グループでの交流を通して、自分の設定した課題を追究し、聴き深めることができる。

【鑑賞の能力】

3 学習の展開

学習活動	教師の働きかけ	指導上の留意点
○本時の学習目標を把握する。	○本時の学習目標を提示し、本時の学習の見通しをもたせる。	◆前時に設定した個人課題のいくつかを紹介する。
グループ交流を通して、自分の課題を追究し、聴き深めよう。		
○自分の設定した課題をグループで説明・交流する。 ○交流を基に、鑑賞のポイントを設定する。 ○「ブルタバ」の全体鑑賞をする。	○グループ内で、自分の設定した課題とその理由について説明・交流させる。 ○自分の課題を解決するために、どのようなことに気を付けて鑑賞すればよいかを考えさせる。 ○自分の設定した鑑賞のポイントを意識して「ブルタバ」全体を視聴させる。	◆交流が円滑に行われるように各グループを支援する。 ◆一例を示し、課題(疑問点)解決のための鑑賞のポイントを設定する流れをとらえさせる。 ◆鑑賞する前に、何人かの鑑賞のポイントを紹介する。
○本時のまとめ	○本時の振り返りを記入させる。 ○次時の学習内容について説明する。	◆タブレットPCを使用する。

4 評価

(1) 自分の設定した課題について、音楽に関する用語を適切に用いて、自分なりに言葉で言い表したり書き表したりするなどして追究し、聴き深めることができる。